

単年度下水道事業評価シート(令和元年度)

1 事業情報

担当課

上下水道総務課

実施方針	IV 下水道事業の経営の健全化	施策目標	1 経営基盤を強化し経営の健全化に努めます	施策	① 経営安定化の推進
------	-----------------	------	-----------------------	----	------------

2 事業評価の概要

視点	内容							
何のために【施策目標】	将来にわたり安定した下水道サービスを市民に提供するため、経営基盤の強化に努めます。							
どんな問題を解決するか【施策】	効率的な施設管理、コストの削減、建設投資にかかる経費の平準化などを図り、下水道事業の安定経営に努めます。また、下水道への接続を促進するなど収入の確保に努めます。							
どのような道筋で【目標】(単年度)	①事業評価およびローリングを実施し、各施策の進捗管理を行います。 ②財政収支計画を検証するとともに経営戦略を適宜見直します。							
期間	平成31年4月		～		令和2年3月			
いくらかけて【予算額・決算額】	予算額				決算額			執行率
	単位:千円	総事業費	収益的支出	資本的支出	総事業費	収益的支出	資本的支出	単位:%
	事業費計	0	0	0	0	0	0	
	工事費	0	0	0	0			
	原材料費	0	0	0	0			
	委託料	0	0	0	0			
	賃借料	0	0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
人件費	12,245	12,245		12,245	12,245		100%	
どういう成果を達成するか【成果指標】	①事業評価およびローリングを実施し、各施策の進捗管理を行った状態。 ②財政収支計画を検証するとともに経営戦略を適宜見直した状態。							

3 プロセス結果の検証

評点	視点	内 容					
中間評価 □	上半期何をどのように 執行したか【現状把握】	①②上半期における収入状況の把握に努めるとともに、事業評価(中間評価)を実施し、川口市下水道ビジョンにおける各施策の進捗管理を行った。					
61点	下半期改善すべき点 は何か【改善目標】	①②事業評価(中間評価)を踏まえ、各事業計画の見直しを、適宜実施する。また、事業評価(終了時・事後評価)により、各施策の課題抽出および改善を行う。					
	どのくらい進んだか【進捗度】	執行(契約)事業費 予算執行率	0千円	事業進捗度	自己評価 評価者結果	B 予定通りの成果を上げた B 予定通りの成果を上げた	
終了時評価	どう いう 成果を 達成したか【達成状況】	①令和元年度における各事業の終了時・事後評価を実施し、PDCAサイクルに基づき、翌年度以降の事業実施手法の改善策等について検討を行った。 ②企業会計方式による財政収支の検証を行った。					
61点	次年度に 解決すべき点 は何か【次年度 解決策】	①事業評価について、適宜、評価手法等の見直しを図っていく。 ②企業会計方式による財政収支を検証することにより、適宜経営戦略を見直す。					

単年度下水道事業評価シート(令和元年度)

4 改善経過の点検と評価

視点	項目	評点	5 常に全員	4 概ね多数	3 一部	2 あまり~ない	1 ほとんど~ない	中間	終了	
人員	意識	この事業による社会全体への貢献を職員は常に意識していますか？						4	4	
	適材適数	業務の適正に応じた柔軟な偏りのない業務分担を行っていますか？						3	3	
中間	13	成果	課の職員が事業の成果や目的を意識していますか？						3	3
終了	13	連携	この事業に必要な連携(局内・市長部局・委託業者等・県等)はできていますか？						3	3
手段	手段	目的達成に必要な手段や方法は、既成概念に囚われず、新たな視点で検討していますか？						3	3	
	可視化共有	目的達成に必要な手段や方法を、可視化し、情報共有していますか？						3	3	
中間	12	方法	当初計画や予定よりも優れた代替方法を検討していますか？						3	3
終了	12	目的化	この事業は、上位目的達成の手段として有効であることが、組織で理解されていますか？						3	3
工程	進め方	目的を達成する工程が、全体最適の視点から作られていますか？						3	3	
	合目的性	下水道使用者の視点に立ち、ニーズや利便性を反映した改善をしていますか？						3	3	
中間	12	学習	課題・問題点が発生したら、その都度、プロセス全体を検証し改善していますか？						3	3
終了	12	当事者意識	職員が主体的に行動していますか？						3	3
予算	利益	上下水道局の利益ばかりでなく、社会全体の利益まで意識していますか？						3	3	
	効果効率	より低いコストで成果をあげる工夫を施し予定以上の費用対効果を出していますか？						3	3	
中間	12	コスト検証	当初計画や予定よりも優れた代替方法による予算の効率的活用が常に検討されていますか？						3	3
終了	12	成果	成果指標を上まわっていますか？						3	3
期間	タイムマネジメント	工程を構造化したタイムスケジュールを可視化・共有し、停滞時間削減に取り組んでいますか？						3	3	
	タイムコスト	時間＝コストを意識し、ムリ・ムラ・ムダの検証を行っていますか？						3	3	
中間	12	期間の設定	業務集中を避け、局全体の事業執行を最適化するように期間を設定していますか？						3	3
終了	12	成果達成	短期間で成果を達成するよう、期間を検討し、進捗を確認、期間修正を行っていますか？						3	3

5 事後評価

指標	R1	R2	R3
指標名			
算出式・根拠			
指標名			
算出式・根拠			
指標名			
算出式・根拠			
指標名			
算出式・根拠			
指標名			
算出式・根拠			
指標名			
算出式・根拠			

視点	自己評価	評価根拠の説明(自己評価の根拠を具体的に記述します。不達成の場合は、原因、改善策を明示します。) A=予定以上の成果を上げた / B=予定通りの成果を上げた / C=成果は出ているが予定に達していない D=結果は出ているが成果は出ていない / E=不十分な結果にとどまる、または結果が出ていない	評価者結果
達成度	B	事業評価(事前、中間、終了時・事後評価)を継続して行うことにより、目標達成度や達成のためのプロセスを検証、分析し、事業の適切な進捗管理を実施した。	B
効率性	B	各事業の継続的な進捗管理により、目標達成に向けて、着実に計画を実行することができた。	B
有効性	B	事業評価を実施することにより、目標への到達度や課題の抽出を行うことができた。	B
説明責任	B	目標達成度を可視化するため、各事業の評価を独自指標により定量的に評価し、その実施結果を上下水道局ホームページにて公表した。	B
組織学習	B	事業評価を実施することで、各課の事業に対する意識付けや進捗状況の管理徹底を行うことができた。	B
総合評価	B	目標達成に向けて計画を着実に実行するため、事業評価を継続的に実施し、PDCAサイクルによる継続的な改善を図りながら各事業を実施していく。	B
		次年度方針 現状維持で継続	B